

2023 年度 学校法人 三幸学園 横浜スイーツ&カフェ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者 : 副校長 今村 温子

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツと・カフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツ・カフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する（全ては、お客様の笑顔とありがとうのために）人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

（重点施策）

・社会に貢献できる人材の育成

食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となる為に下記7点を教職員一丸となって生徒指導をし、強化していく。

① 予習復習＝技術向上 ② 掃除徹底・衛生管理 ③ まずチャレンジ

④挨拶・返事 ⑤笑声でポジティブ語！ ⑥個人目標 ⑦各クラスに即した目標

・退学率低減、皆精勤率向上

・産学連携・地域連携の強化

（振り返り）

・コロナ禍より抑制されてきたことが、次々に解除された昨年、本校でも授業や行事をもとの形に戻しつつある。その中、数年前の生徒達が出来ていた対人スキルが、現在はひとりひとりの背中を押し、真意を説いていかないと理解や行動に繋がらない傾向にある。さらに感情表現が希薄になったことで、集団が醸し出す活気や熱気の不足、という点も課題の一つと言える。生徒達にとって、コミュニケーションができない、というより、以前よりも個人主義が進み、人との繋がりの必要性を感じにくくなっている印象はある。

そのような生徒達の理解を深めつつ、社会人として必要な力（体調管理・メンタル強化等）を少しでも身に付けさせる指導を、より強化することが必要と感じる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

・業界全体を捉えられるカリキュラム構成（マーケティング・QSC・SDGs・society5.0への取り組み等）

・今後の飲食業界に対して、より求められる多角的なスキル（ITやSNS活用・デリバリー等）に対応していけるための人材教育

・学園の理念や育成人材像が飲食分野で輝く人材へのイメージとつながるような生徒への浸透

② 今後の改善方策

・生徒が業界に対する理解への機会（知る・考える・活用する）を各授業において作っていく

・理念や人材育成像の落とし込みをHRや授業において、都度教員から伝え続けていく

・柔軟に主体的に考え動ける内容へ学内店舗実習授業を中心に授業展開する

③ 特記事項

食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となるために具体的に示した7ヶ条に関して、生徒自身の自己点検を実施。また教職員に関しても全体会議・職員朝礼で共有の周知徹底を行い、日々の各授業の中でも生徒への働きかけをしており、全校挙げての意識統一強化を図っている。

(2) 学校運営

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・自身の担当業務にとらわれず、全体的な視野で学校運営を行うことができる教職員の人材育成
- ・効率良い働き方ができるための仕組み作りと、個々の育成
- ・教員としての人間力強化（心の教育・社会人育成を行う立場としての責任感）
- ・スキルアップ時間と業務時間の線引きを明確にし、自己研鑽できるメリットを実感できるような雰囲気作り

今後の改善方策

- ・研修や自己研鑽の時間も上手く設け、個々のスキルアップや意識向上を図ると同時に、過重労働とっていないかどうかもしっかり把握しておく
- ・業務改善や業務削減を積極的に行い業務の効率化を図ると共に、時間的余裕を生み出す

② 特記事項

- ・年3回全教職員を集める会議を実施し、運営方針等の浸透を図ると共に情報共有を行っている。
その際、リスクマネジメントに関する研修なども全教員で実施。
- ・地域の姉妹校全体でプロジェクトを組み業務改善、働き方改革、人材育成を検討実施
- ・コンテストへの出品等後押しをし、自己研鑽の上入賞実績を積むことで、学校・個人双方にとっての相乗効果を得る

(3) 教育活動

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・大きな変化に対する理解と周知が十分でないときがある
- ・継続的に教員力の向上（技術力・授業力・指導力）を図る必要がある
- ・変化していく時代に合った教育内容と現場で求められる力を身につけさせられるよう対応していくこと

② 今後の改善方策

- ・研修機会の提供、会議での周知徹底を図る
- ・教育制度や業界の理解を常に意識し、学習内容の見直しを随時行っていく
- ・学内の組織形態を変え、教科担当内の情報共有・要望の実現をしやすくする

③ 特記事項

- ・企業様との連携、全体会議での勉強会実施
- ・姉妹校含め研修や授業の質向上のためのプロジェクトを実施
（新人研修・技術力授業力向上研修、各校チーフWEB会議にて授業内容の共有と改善・資格取得率向上、授業見学等）

(4) 学修成果

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・家庭環境・教育環境の変化、メディアの発達等により学校教育のスタイルの変化への柔軟な対応
- ・継続的な退学率低減、そのための効果的な取り組みの確立
(授業形態の改善・教員のサポート体制・教育の在り方の検討)
- ・卒業後の正確な状況把握と離職率低減に向けた支援
- ・社会情勢の影響があっても、変わらず安定した就職の維持ができるよう企業との連携強化

② 今後の改善方策

- ・単位制においての退学防止につながる先を見据えた計画的指導方針の確立
- ・迅速かつ手厚い学生フォローや教員間の連携強化（スピーディーな情報共有）
- ・モチベーション維持、良好な人間関係構築のためのサポート（授業スタイル、クラス環境、HR の有効活用）
- ・卒業生就職先への訪問強化
- ・同窓生へ SNS を通し活発にアクションすることで学校とのやり取りのハードルを下げ、情報収集しやすくする

③ 特記事項

- ・2023 年度退学率 3.7%
- ・2023 年度就職率 99%

(5) 学生支援

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・卒業生に対する支援体制の更なる強化（卒業後教育の機会等）
- ・サポート体制強化のためにも保護者や高校との更なる連携
- ・学生に対する精神面、環境面のサポート強化
- ・生徒に対する指導方法の共有不足

② 今後の改善方策

- ・卒業生：教員との継続的な情報共有システムの構築。同窓会組織において、就労状況のヒアリングとフォローと再就職の斡旋、資格取得希望者に向けたアプローチの強化、独立開業支援制度や学内情報の共有
- ・保護者：相互連絡体制の強化。学習内容・行事・授業見学など、学校生活を共有する機会の提供
- ・在校生：複数のチーム担任制度を実施し、面談やカウンセリング等フォロー体制の強化
授業中や学校生活で教職員が生徒に感じた内容を教職員間で迅速に共有する

③ 特記事項

- ・経済的支援として、特待生制度、学費分割制度、奨学金制度、高等教育修学支援制度
- ・今年度も学内にて同窓会を実施予定
- ・保護者への情報提供として行事等の積極参加を呼びかけ
- ・学園としての独立開業支援制度整備

(6) 教育環境

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・教育上必要な施設・設備は整っており、防災の体制も出来ているが意識の浸透がやや薄い
- ・海外研修が数年ぶりに復活したが、ますます渡航費用の高騰が懸念される中、内容と金額が見合っているかどうか

② 今後の改善方策

- ・インターンシップについては、ホームルームで行う指導に対し、現場ごとに異なるルールがあり、スムーズに適応するために、より企業調査などを詳しくしていくことが必要
- ・企業連携をさらに強化する
- ・避難訓練（地震・津波・火災等様々なシーンを想定し）を定期的の実施し、防災意識を高める

③ 特記事項

- ・災害等に備えた防災対応ポケットガイドの配布・全教員会議の中で防災研修（避難訓練）の実施
- ・Wi-Fi 等メディア授業に対応できる環境整備を実施中
- ・1人1台タブレットを使用した授業展開の継続促進
- ・2024 年度インターンシップの任意化

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・精神や身体に何らかの事情を抱えた入学希望者の受け入れと事前の情報共有、入学後の学習や人間関係等の兼ね合いや配慮
- ・18歳人口の減少が進む中、製菓・調理業界の就業を希望する志ある入学者の確保

② 今後の改善方策

- ・個別対応により、個々に応じた相談や情報共有の強化を行う
- ・入学後のギャップ解消やパンフレットに記載されている内容順守を徹底する
- ・高校との連携を強めていく

③ 特記事項

- ・一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会が定めた募集時期や内容に関して遵守している
- ・入試説明会や保護者説明会等も実施し、相違が無いよう適性に伝えている
- ・高校教員見学会を実施し、授業の様子や卒業生の様子を見て頂く機会を設けている

(8) 財務

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画（2023年度～2027年度）の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・ 個人情報に関する意識の強化と管理徹底
- ・ 自己評価で出た問題点について実行できている部分とできていない部分がある

② 今後の改善方策

- ・ 全ての教職員に対して法令遵守をさらに徹底させるべく会議等で働きかけを行う
- ・ 自己評価の継続的实施と問題点の明確な洗い出し、各改善策をチームにて検討

③ 特記事項

- ・ 平成26年度自己評価結果より公開

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・年間カリキュラムの中で貢献活動実施に向けて調整はしており、地域・企業連携とも、さらなる活性化

姉妹校とも連携し、スケールメリットを先方にも実感いただけるような機会を設けていく

② 今後の改善方策

- ・本校単独や地区姉妹校と連携し貢献活動の内容を検討・実施
- ・既存のものと新たな取り組みの調整

③ 特記事項

- ・学内店舗実習の更なる展開（現状や今後の業界を理解したうえでの運営）
- ・地元自治会との行事連携
- ・地域の小学校との連携を実施し、職業教育につなげた

(11) 国際交流（必要に応じて）

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

①課題

- ・コロナ禍の影響で留学生との交流を持つことは難しかったが、2024年度の募集から留学生が少し増え、
担当者からのわかりやすい説明を心掛けるなど工夫している
- ・国内での就職指導が難関。受け入れのできる企業とのパイプの強化は必須

② 今後の改善方策

- ・WEBを活用した広報の促進
- ・留学生を受け入れてくれる就職先の確保に今後も務める
- ・今後より多くの留学生が入学した場合を想定して、適切な指導・支援体制作り

③ 特記事項

- ・2023年度在籍1名（年間休学）